

北海道真駒内養護学校 進路だより



決める力・見る 聴く 感じる力・伝える力

つながる力・やる気 元気

発行日：第2号 令和4年11月11日

発行者：高等部 橋

ひとつ ひとつの行事をおえて

校内敷地の樹木は美しく紅葉し、ドングリやオニグルミ、クリなどがたわわに実っています。近隣にある澄川公園では、野生のエゾリスが冬に備え、忙しく木の実を運ぶ様子が見られる季節となりました。

さて、1年の折り返し地点を過ぎ、2学期もまとめの時期にさしかかっています。校外学習や泊学習、学習発表会、文化祭など各学部、各学年の節目となる行事では、お子様の新しいチャレンジや積み上げてきた日々の成長がきらりと光る場面に数多く出会うことができました。

高等部においては、3学年とも生活体験実習を計画し、状況にあわせて随時実施してきました。3年生は高等部卒業後の進路選択に向けて、より具体的な利用の希望をかため、伝えていく時期になります。1・2年生は実習から受けた率直な印象や事業所へ求めるニーズを次年度への進路の取組につなげられるよう担任や進路担当と共有させてください。お子様のもつ“自分らしさ”を「広げる」「高める」「発揮する」を目指して、今後も進路支援の一助となれば幸いです。

卒業にむけての補装具の修理や作製について



卒業後の生活を見据え、多くの生徒が高校2～3年生にかけて車いすや座位保持装置、下肢装具などを新調して卒業を迎えます。制度を利用して補装具を支給申請をした場合、18歳以上では、医師の診断及び意見書の他に専門機関等（更正相談所）での必要性についての判定が必要になり手続きがスムーズに進まないこともあるため、本校では18歳未満での申請をすすめています。（自立活動室：片岡）

●18歳までは「学校用」「自宅用」と2台の作製が認められていますが、「学校用」の作製は難しくなります（車いす・座位保持装置は基本1台の枠です。状況によっては「事業所用」として認められるケースもあります。）

卒業前の準備

- 必要な補装具をいつ頃、申請したらよいのかを「実際に学校で使ってみて、評価・調整する期間」を自立活動教諭に相談しながら検討することが大事と考えています。

卒業後の相談

- 高等部卒業後もお子さまの身体は変化していきます。身体の状態に合わせ、補装具類も調整していけるように、外来や訪問リハビリなどの専門家や作製業者に、必要に応じて補装具の状態もみてもらうようにしておくことと安心です。調整する中で、修理・新規作製が必要になることもあります。
- 補装具の新規作成、修理申請の際には、引き続き主治医の意見書が必要となります。卒業後、補装具のことも含め相談できる医療機関、主治医を決めておくことも大切です。

卒業に向けて、進路先だけでなく、医療機関やリハビリについても考えていくことが大切です。不安なことや心配に感じられることがありましたら、担任や自立活動教諭まで ご相談ください。



ご存知ですか？

体験利用について

高等部3年生の冬（夏）休み期間中の生活介護の**体験利用**が可能です。体験利用は任意ですが、事前（約2ヶ月前）に役所での手続きが必要となります。利用日の調整や手続きに関することは、相談事業所（保護者）—事業所間で行うことになっています。自治体によって、異なる場合もありますので、障がい保健福祉課または、相談支援事業所でご確認ください。



高等部玄関ホール、廊下に新規開所事業所情報や届いた通信を掲示しています。

ぜひご覧ください！

中学部 ようこそ 先輩

進路学習

高等部 生活体験実習



本校の卒業生をむかえて



事業所の作業を実際に体験

希望する居住区の生活介護事業所で、作業や余暇的活動、食事などを体験し1日を過ごしました。



中学部進路学習「ようこそ 先輩」では、他校受検・本校受検希望者の2つのグループに分かれて段階的に学習を進めてきました。将来の夢に対する思いを深めたり、具体的な高校生活へのイメージを自身の中でふくらませることができるよう、OB/OG 卒業生を講師に、先輩の話を聞く活動や作業活動の様子を見学したり、実際に体験もしました。

高等部「生活体験実習」では、高等部卒業後の生活を体験的に学習しながら、事業所職員とのやり取りを介し、社会生活の場面でより自分の感じたことを発信する貴重な経験を積むことができました。

新事業所開所情報

札幌市西区山の手7条8丁目6
の3 M16ビル
Tel(011)633-5555 (総合受付)



1階にデイサービス、2階と3階に生活介護事業所の他、ショートステイを併用して利用することができます。エレベーターがないため、階段昇降でのアクセスとなります。動作訓練やレクリエーション、学習、各プログラムによりフロアが変わります。

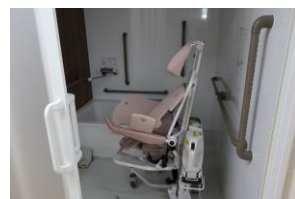


さくらスマイル

札幌市西区八軒5条西2丁目
4-15
Tel 080-9615-2904



医ケア対応、入浴支援は椅子式の機械浴となっています。昼食は手作りで、利用者のリクエストやお誕生会には利用者の好みを反映し提供されています。



未来さぼーと白石

札幌市白石区本通16丁目
北4-30白石ハイツ2・3階
Tel (011) 861-6110



活動室が4部屋あり、クラス別による支援が行われています。ご利用になる方に応じた仕事内容（造作、清掃、絵画など）や作業を通じての工賃支給もあります。



事業所見学をご希望の場合は、担任または進路担当までお声がけ下さい。